

解 答

問一 発揮 姿勢 誤解 共有 つら [なり] さず [けた]

問二 (1) 胸 [が高鳴る] 記号 イ (2) [一] 足 [飛び] 記号 オ

問三 A エ B ア 問四 不

問五 たとえ 問六 イ 問七 オ

問八 自分の好きな本の一節を書き写す作業 問九 万年筆の働き

問十 ウ 問十一 イ

問十二 (1) ア

(2) 自分にとって最もたよりになる存在だ [と思う気持ち。]

問十三 [彼女はまったく] 役に立たない

問十四 なやみを相談したり、困ったときに助けを求めたりすることができず、たよりにならない存在。

問十五 どうしてもリコーダーが見つからないので絶望し、薄着で夜の風に当たり肺炎を起こすことで、明日の学芸会に出られないもっともらしい理由をつくろうと思ったから。

問十六 ウ・オ 問十七 エ 問十八 ア

問十九 ア ○ イ ○ ウ × エ × オ ×